

2013年9月16日

第37号

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



日本医療機能評価機構 日本医療機能評価機構認定病院

平成25年(2013年)

9月



第37号

●部門紹介

NSTについて



第一外科 学内教授 土岡 丘

NSTとはNutrition Support Team（栄養サポートチーム）という意味です。

1970年にアメリカで誕生し、代謝・栄養学の専門家と言われる医師、栄養士、薬剤師が集まり、それぞれの知識や技術を持ち合って、最良の方法で栄養支援をするチーム必要性を説いたことが始まりです。

日本では2000年頃にNSTプロジェクトが始まり、その後は厚生労働省を主として国全体の取組みとしてNST活動の普及を行っています。

当院もJSPEN（日本静脈経腸栄養学会）およびJCNT（日本栄養療法推進協議会）のNST稼働認定施設であり、またJSPENの「NST専門療法士実地修練認定教育施設」という認定を受けています。

また医師や看護師のみではなく、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士等の多職種の専門家が参加し、また院内の褥瘡（じょくそう）＜床ずれ＞対策委員会、感染対策委員会などとも連携をとりながら症例の検討および回診を行っています。

医療と栄養管理

栄養管理はすべての治療法の基盤であり、適切な栄養管理は重症例の予後を改善し、逆に不適切な栄養管理は予後を悪化させます。栄養状態が不良であればいかなる治療の効果も低下してしまいます。

NSTの主な役割

1. 適切な栄養管理がなされているかのチェック
2. 各症例に最もふさわしい栄養管理法の指導・提言
3. 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療

当院の主なNSTの活動

1. 症例検討と回診（週1回）
2. 院内講習会（月1回）と講演会（年1回）
3. NST専門療法士実地修練講習会の開催（年1回）



NST回診の様子



NST講習会風景

命をつなぐ翼

栃木県ドクターヘリ フライトドクター 菊池 仁

栃木県ドクターヘリの基地病院に当院が選定され、約3年半が経ちました。

当初は院内外から“獨協のヘリ”と思われがちでしたが、少しずつ“県の事業”であることも根付いてきました。背景には全国的にドクターヘリの導入が急速に進んだことも挙げられます。2010年1月の運航開始当初、栃木県は全国で17番目（21機目）として運航を開始しましたが、現在は全国で41機のドクターヘリが運航しています。

栃木県ドクターヘリは1年365日、朝8時30分から日没30分前までフライトドクター2名、フライトナース1名体制で活動しています。もちろん、出動時以外は通常業務（初期治療室、ICU、救命病棟）をこなしています。また素晴らしいヘリポート、立地条件のおかげで要請から出動まで3分弱と全国一の出動までの速さを誇っています。

昨年度（H24.4/1～H25.3/31）の運航実績は要請796件（8位/40施設中）、出動703件（6位/40施設中）現場出動592件（5位/40施設中）と要請・出動ともに全国でもかなり上位に位置しています。

出動の上位3～5位を茨城県、群馬県、栃木県が占めており、北関東3県は非常にドクターヘリを有効に使用し、救急患者の救命率の向上、後遺症の軽減に努めています。

また2011年7月からは全国初となる3県連携（栃木・茨城・群馬）協定を結び、お互いに自県のドクターヘリが出動している場合には応援要請をできるシステムを作りました。当院に群馬県や茨城県のドクターヘリが患者さんを搬送してくることがあるのはそのためです。

こういった栃木県ドクターヘリの活躍の背景には、栃木県内の消防機関はもちろんのこと、運航会社、栃木県庁の方々、そして院内の皆様など、本当に多くの方々からの協力・支援をいただけていることが挙げられます。この場をお借りして厚く御礼申し上げるとともに、今後ともご協力、ご支援をお願い申し上げます。

もちろんまだまだ課題や問題はたくさんあります。まずは安全運航を第一として、少しでも救命率の向上につながるように日々努力していきます。

糖尿病患者会「きすげ会」紹介

きすげ会 会 長 原田 克己
リハビリテーション科 加藤 祝也

●「きすげ会」は内分泌代謝内科で通院治療を受けている患者の会であります。

きすげ会は糖尿病治療に関する勉強会と、会員相互の交流を主目的として活動しています。活動内容は勉強会・食事会（低カロリーフランス料理600kcal）・ボウリング大会・ウォークラリー大会や旅行等があり、医師や看護師そして管理栄養士もサポートで参加しています。

食事会では管理栄養士による料理の工夫や注意についての解説があり、参加者同士の意見交換などで大変盛り上がります。フランス料理はレストランの協力を頂き驚きの低カロリーとなっています。



食事会の様子

◆勉強会では、それぞれの専門家による以下のような内容があります。

- ・医 師⇒ 糖尿病やそれに伴う合併症、インスリン注射について
- ・看護師⇒ 糖尿病に関する生活指導やフットケアについて
- ・管理栄養士・理学療法士⇒ 食事・運動療法について

◆ボウリング大会は活動の中で唯一の競技イベントであり、会員のご家族も参加し、ゲーム終了後は喫茶でくつろぎながら表彰式が行われ、ささやかでは有りますが賞品等をお渡しして、健闘を讃えます。

ボウリングは、とても人気がある企画の一つです。

その一因に、協議終了後の喫茶室での、血糖値低下を補うことを目的とした、ショートケーキ等の甘味物に有ると推測できます。



ボウリング大会（H25年6月）

◆全国規模で開催される「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー大会」にも毎年参加しています。今年も10月6日（日）に栃木県総合運動公園で開催が予定されています。栃木県内の数多くの患者会が参加し、ウォーキングとクイズを同時に楽しめる素敵なイベントであります。



ウォークラリーの様子

「きすげ会」に興味を持たれた方は診察に来られた折にでも、気軽に主治医の先生もしくは、看護師さんに一声をかけてみてください。

同じ病態の人達が、生きがいを持ち元気良く活動する姿は、素晴らしい事だと感じます。

さあ、仲間に成りましょう！

■参考：きすげ会の活動を支援しているのは内分泌代謝内科医局（医師）・看護師そして糖尿病療養指導士（看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士）です。糖尿病療養指導士は医師の指導のもとに幅広い専門知識と技術を持ち、糖尿病患者様に適切な療養指導を行う生活指導のエキスパート（日本糖尿病療養指導士認定機構による資格）です。栃木県には173名（平成25年6月）がいます。

11月14日は「世界糖尿病デー」です。糖尿病は今や世界の成人人口のおよそ5～6%となる、2億4600万人が抱える病気です。2006年、国連は、国際糖尿病連合（IDF）ならびに世界保健機関（WHO）が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズと、国連や空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」を使用したシンボルマークが採用され、世界各地及び日本各地で関連イベントが開催されます。昨年は栃木県庁で栄養・食事・健康相談、パネル展示等開催され、宇都宮タワーがブルーライトアップされています。

また、宇都宮保健センターでは「糖尿病無料医療相談会」が毎年開催されており、専門の医療スタッフが相談に応じています。今年も予定されています。どなたもご利用可能です。



シンボルマーク

・担当窓口

内分泌代謝内科 外来

病院への手紙 ～病院へのお手紙に関するご回答～

・待ち時間がある時など、付き添いの家族ともどもPETセンター2階の情報・図書コーナーをよく利用させてもらっています。もう少し本の種類や数が多いといいのですが。また、開館時間が11時からとなっていますが、朝早く来る時もあるので、もう少し早く開館できないでしょうか？

(回答)

ご意見ありがとうございます。PETセンター2階の情報・図書コーナーには、医療に関する様々な情報のパンフレットやリーフレットを常時閲覧できるようにしており、また、図書コーナーは、月曜から金曜の午前11時から午後2時の間開館し、閲覧や貸出しが可能となっております。ご意見にあります本の種類、数につきましては、先日、医療に関する本を中心に蔵書を増やしましたので、ぜひ、お立ち寄りください。

開館時間につきましては、現在当コーナーが地域の皆さんのボランティアにより運営されている関係から、現状で11時からとなっています。ご理解くださいますようお願いいたします。なお、当コーナーではボランティアスタッフを随時募集しており、さらにスタッフが確保できれば開館時間を早くできる可能性があります。ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。



<お問い合わせ先>

地域医療連携センター

TEL : 0282-87-2383 FAX : 0282-86-5446

E-mail : renkei @ dokkyomed.ac.jp

・面会者は手指消毒やマスク着用の必要性を認識している者が圧倒的に少ない。面会者が病棟に入る際の手指消毒を徹底してほしい。

(回答)

各病棟の入院時のオリエンテーション時に手指消毒について患者さま、ご家族に説明しています。また、面会者の方々へは、各病棟の入口に手指消毒液を設置するとともに、貼り紙を貼付するなど協力を要請しております。しかしながら現状では十分に徹底されていない状況です。引き続き、患者さま、ご家族、面会者の方々への手指消毒の協力を依頼していきたいと思います。なお、マスク着用については、特定の科（小児科、血液内科）の病棟において、ご家族、ご面会の方へマスク着用をお願いしております。

・ジェネリック薬の取り扱いをしてください。

(回答)

病院の採用薬として先発薬品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）の両方を揃えることが理想なのですが、膨大な種類となり医薬品の管理が難しくなるため、現在は先発医薬品を取り扱っています。このような事情から、患者様が後発医薬品を希望される場合は院外処方せんを発行させていただきます。保険薬局では後発品を受け取ることができますので、院外処方せんの発行について主治医にご相談ください。

・外来駐車場が整備されて、幅も広くなり駐車しやすくなったのはいいのですが、雨の日に駐車場が満車状態の時、傘をさして南の端から玄関まで歩くのはしんどいです。歩道にショッピングモールにあるような屋根をつけて欲しいです。

(回答)

ご不自由をお掛けして申し訳ございません。ご要望の駐車場の歩道屋根につきましては、現在設置する方向で検討中です。設置する屋根は、簡易型では台風などの際には危険ですし、しっかりしたものはかなりの予算を必要としますので、設置は限られた部分になりますが、予定では今年から向こう3カ年計画で整備する予定です。いましばらくお待ちくださいますようお願いいたします。ご意見ありがとうございました。

当院において、今年の7月「患者さま満足度調査」を実施いたしました。この調査は、外来・入院患者さまを対象に、当院への評価とご意見を患者さまにお伺いし、患者サービスの向上に役立てるために行っているものです。ここにその結果の概要をお知らせいたします。

皆様からいただいた貴重なご意見を十分に検討し、今後の医療サービスのより一層の向上に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後にこの場をお借りいたしまして、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

患者さま満足度調査の結果 <外来部門>

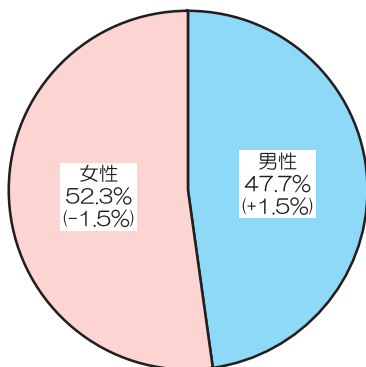
平成25年7月22日～7月31日実施、回答者数352人

() 内は前回調査(平成24年6月18日～6月22日実施)との差

■回答者の性別・年齢

<性別>

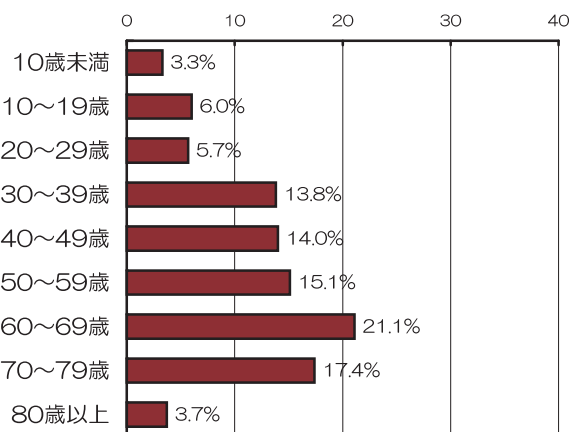
有効回答者数：308人



<年齢>

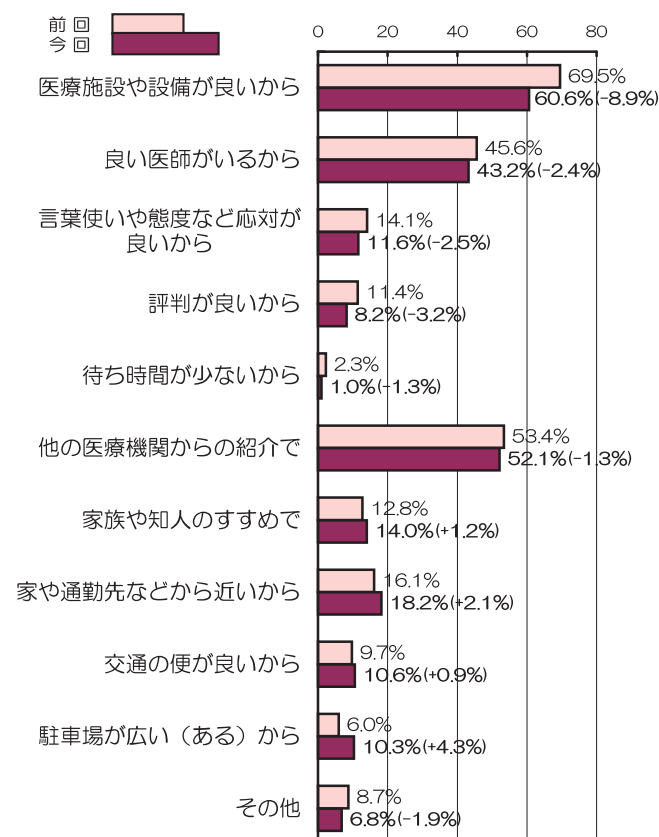
有効回答者数：299人

平均年齢：51.1歳 (-1.9歳)



■当院の選択理由 (複数回答可)

有効回答者数：292人



■総合評価点

有効回答者数：327人

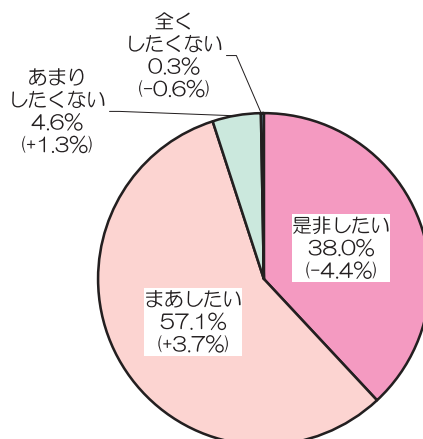
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点：81.9点 (-0.7点)

■紹介・推薦意向

有効回答者数：326人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思いますか」

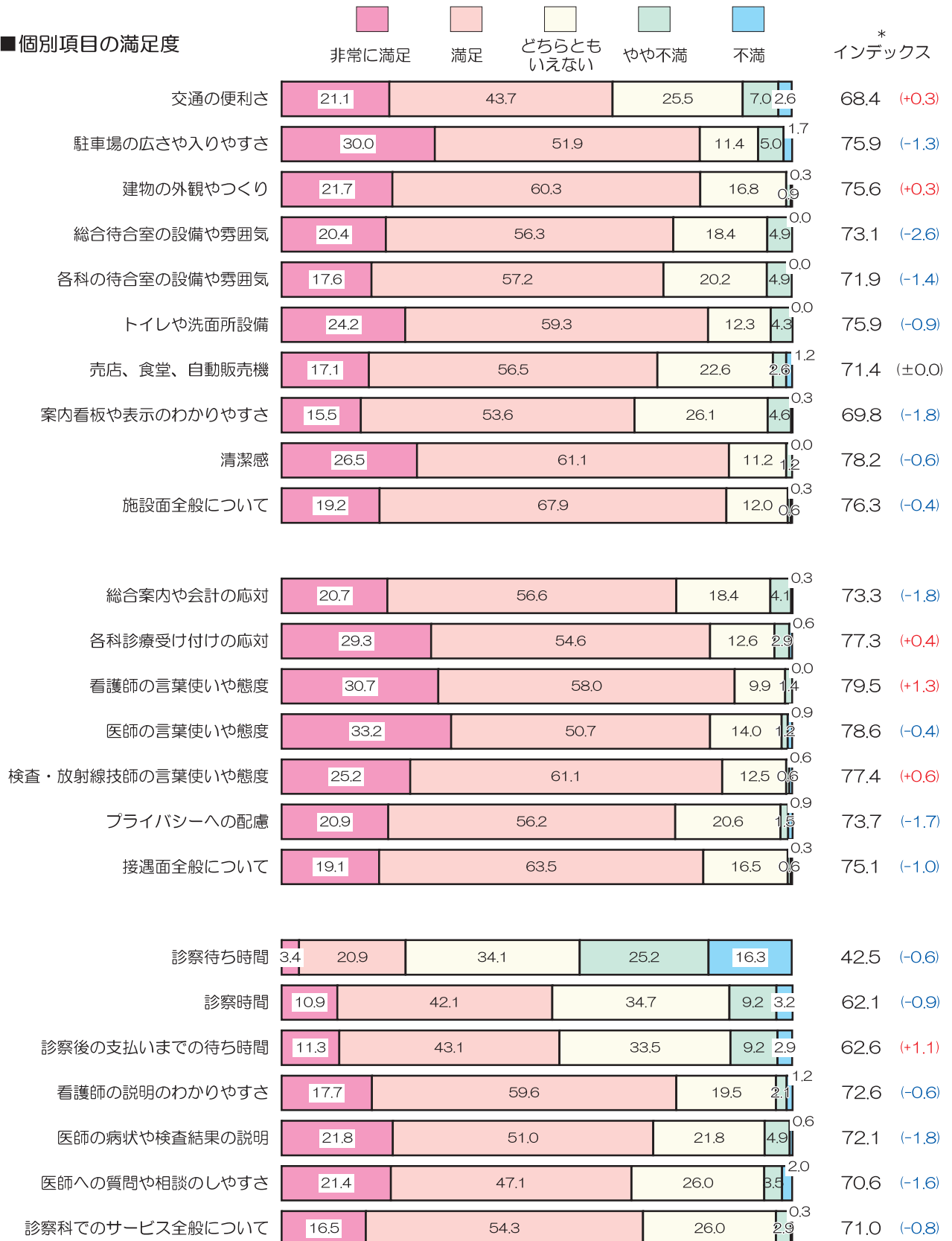


概要版

*無回答、わからない・該当しないは除外して集計

*インデックスは、「非常に満足」を100点、「満足」を75点、「どちらともいえない」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点とした平均評価点

■個別項目の満足度



患者さま満足度調査の結果 <入院部門>

平成25年7月22日～8月5日実施、回答者数296人

() 内は前回調査(平成24年6月11日～6月30日実施)との差

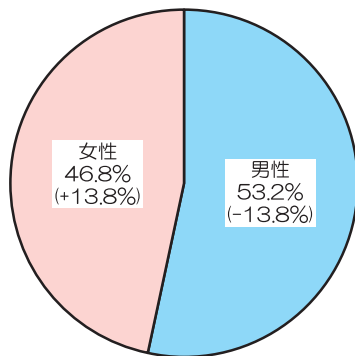
■回答者の性別・年齢

<性別>

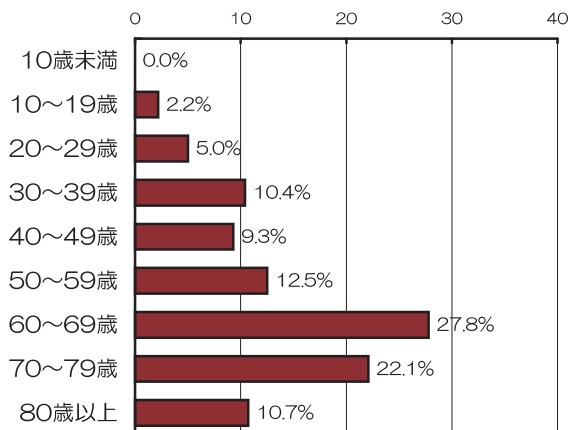
有効回答者数： 282人

<年齢>

有効回答者数： 280人

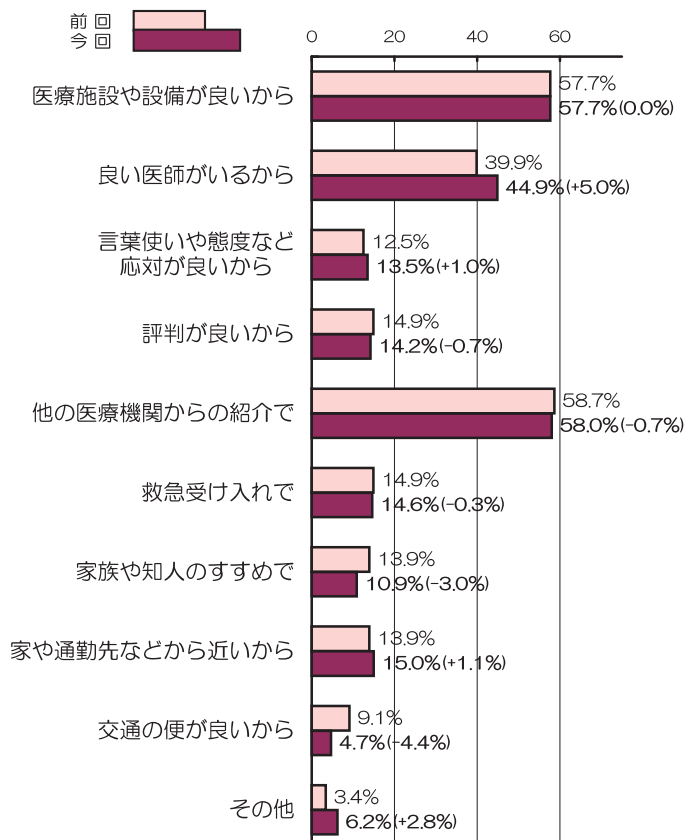


平均年齢： 59.5歳 (+1.8歳)



■当院の選択理由 (複数回答可)

有効回答者数： 274人



■総合評価点

有効回答者数： 279人

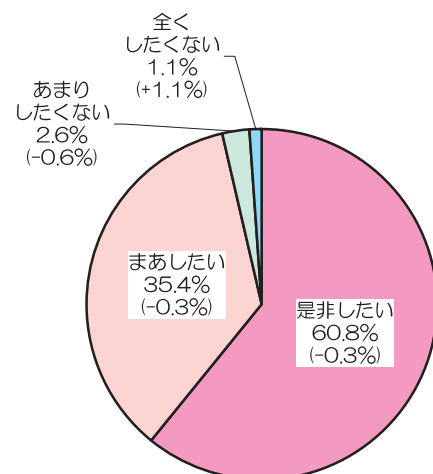
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点： 86.7点 (-1.2点)

■紹介・推薦意向

有効回答者数： 268人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思いますか」

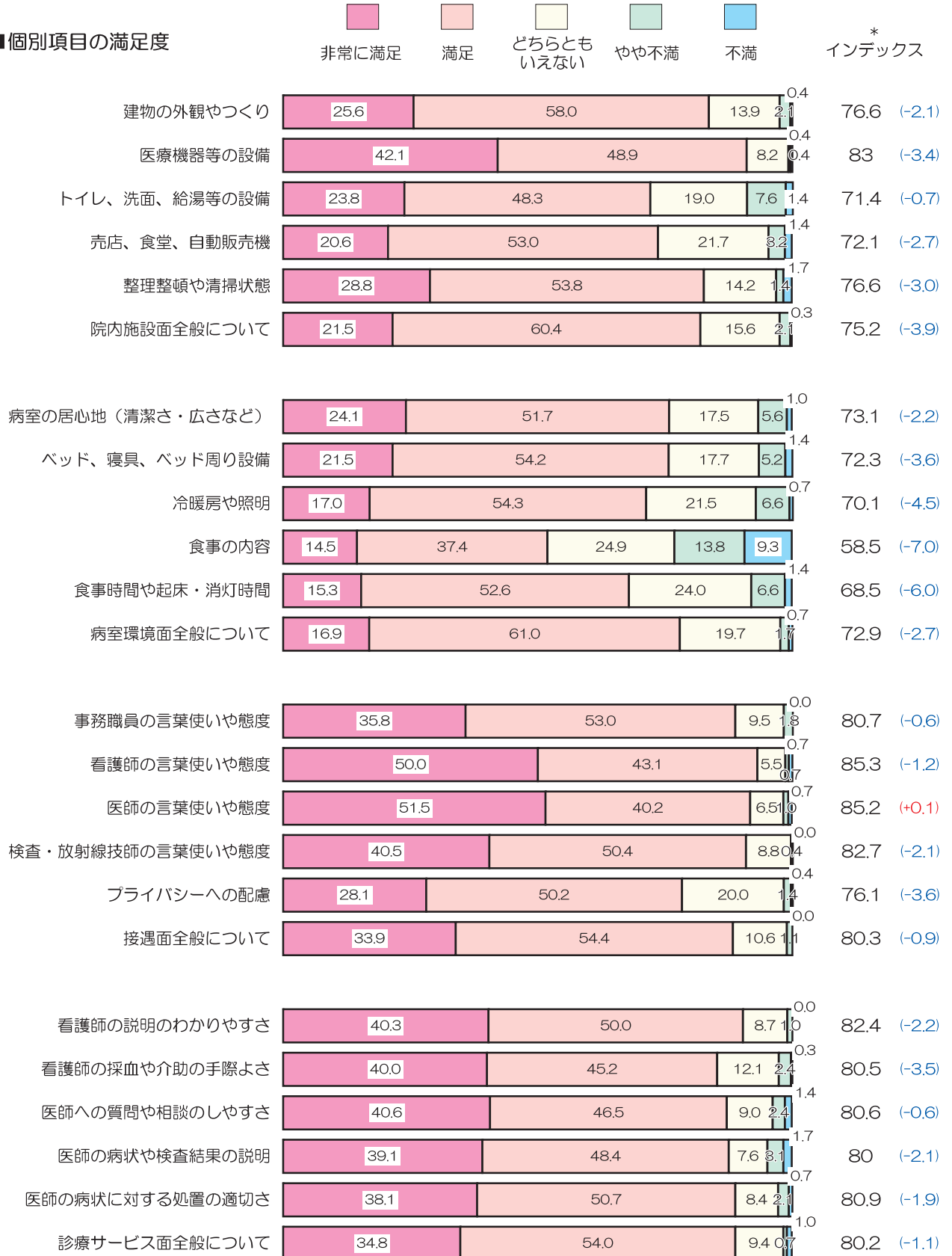


概要版

*無回答、わからない・該当しないは除外して集計

*インデックスは、「非常に満足」を100点、「満足」を75点、「どちらともいえない」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点とした平均評価点

■個別項目の満足度



時間外選定療養費のお知らせ（平成25年10月1日より）

【今回の経緯について】

当院は、高度の医療を提供することが第一の役割であることから、当院の時間外外来は、入院を必要とするような重症の患者様や、緊急の処置や対応が必要とされる患者様を受け入れることを基本としております。

しかしながら、時間外外来を受診される患者様の中には、緊急の受診の必要がないと判断される患者様も少なからず受診されており、本来の目的である重症の患者様への迅速な対応に支障をきたしております。

つきましては、医師の診断の結果、原則2次・3次救急に該当しないと判断した場合、診察代や文書料等とは別に時間外選定療養費として7,000円（消費税別）をやむを得ずお支払いいただくことといたしました。

何卒、皆様のご理解をお願い申し上げます。

時間外選定療養費：7,000円（消費税別）

【時間外の扱いとなる時間】

- ①平 日 16時30分～翌日8時30分
- ②土曜日（第3土曜日を除く） 12時30分～翌日8時30分
- ③日・祝日、第3土曜日、年末年始、開学記念日（4/23） 終 日

【時間外選定療養費の対象外となる場合】

1. 受診後、そのまま入院となった場合
2. 当院で診療継続中の傷病の症状増悪によって、時間外に受診の必要があった場合
3. 緊急で当院の時間外外来受診を目的とした、他の医療機関からの当院宛紹介状を持参された場合
4. 当院の医師より、あらかじめ時間外外来受診を指示されていた場合
5. その他、時間外外来担当医師が緊急性ありと判断した場合

【本件についての担当窓口】

本件につきまして、ご不明な点がございましたら、下記担当宛てご連絡ください。

獨協医科大学病院 外来課

TEL (0282) -87-2249（直通）

電話対応時間

平 日 9:00～16:00

土曜日 9:00～13:30（第3土曜日除く）

◆◆編集後記◆◆

毎回、病院をご利用する方々にとって、わかりやすい情報をお伝えするために、編集委員が内容を検討し発行しております。ご利用する方々からも、記事にしてほしい内容や施設の紹介などの要望がありましたらご希望をお聞きたいと思っております。読みやすく楽しい病院だよりを発行していきたいと思っております。

看護師募集

○当院では看護師を募集しております。

詳細につきましては、下記窓口までお気軽にお問合わせください。

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880

獨協医科大学病院 看護部

受付時間

平 日 9:00～16:00

土曜日 9:00～14:00（第3土除く）

TEL : 0282-87-2395

FAX : 0282-87-2382



獨協医科大学病院だより第37号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111（代表） FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

獨協医大病院 検索

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日／平成25年8月★日

編集・発行／獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷